

立谷橋 数量総括表(その1)

1式当り

工 種	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
断面修復工			式	1	
	断面修復	ポリマーセメントモルタル	橋	1	上部工 0.02m3
伸縮装置取替工			式	1	
	伸縮装置取替	AIJ-20同等品以上	m	4.0	A1橋台
		ソーマジョイント同等品以上	〃	4.0	A2橋台
舗装打換工			式	1	
	舗装打換	表層 再生密粒度アスコン(13) t=40mm	m ²	10	
		基層 再生粗粒度アスコン(20) t=40mm	〃	10	
	舗装版破碎工	コンクリート舗装版 t=70mm(平均)	m ²	1	伸縮装置部
		コンクリート舗装版 t=80mm	〃	9	背面道路部
	舗装版切断	コンクリート舗装版	m	12	
防護柵補修工			式	1	
	孔 明	φ20	箇所	91	
	モルタル充填	無収縮モルタル	m ³	0.1	
	溶接補修		m	4	
支承防錆工			式	1	
	支承防錆	金属溶射	基	2	可動 75t
		〃	〃	2	固定 60t

立谷橋 数量総括表(その2)						1式当り
工 種	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	
変位制限構造(RC突起) 撤去復旧工			式	1		
	コンクリート	30-8-25BB	m ³	1		
	型 枠	一般型枠	m ²	3		
	鉄 筋	D29~D32	SD345	t	—	
		D16~D25	〃	〃	0.23	
		D13	〃	〃	—	
		合 計	SD345	t	0.23	
	下 地 処 理	チップング	m ²	5		
	ア ン カ ー 工	下方向 D25	本	32		
	緩 衝 材	HD-HF10 203×100×177	個	16		
	コンクリート構造物取壊し	鉄筋構造物	m ³	1		
	コンクリート削孔	φ34×400	孔	32	コアボーリングマシン	
変位制限構造 (鋼製ブラケット)撤去復旧工			式	1		
	鋼製ブラケット撤去		箇所	2		
	鋼製ブラケット復旧		箇所	2		
仮 設 工			式	1		
	飛 散 防 止 シ ー ト	メッシュシート	m ²	290		
	ガ ー ド フ ェ ン ス	H=1800	m	160		
足 場 工			式	1		
	単管傾斜足場		掛m ²			
	片側朝顔防護足場	シート+板張防護	m ²	20	朝顔・床面,朝顔防護含む	
	板 張 防 護		m ²	80		
	シ ー ト 張 防 護		m ²	80		
殻運搬処理工			式	1		
	殻 運 搬 処 理	アスファルト舗装版	m ³	2		
		コンクリート舗装版	m ³	0.8		
		コンクリート殻(鉄筋)	m ³	1		
		コンクリート殻(無筋)	m ³	#NAME?		
		汚泥処分	m ³	0.020		

立谷橋 断面修復工数量集計表

1式当り

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
断 面 修 復	ポリマーセメントモルタル	m ³	0.02	上部工

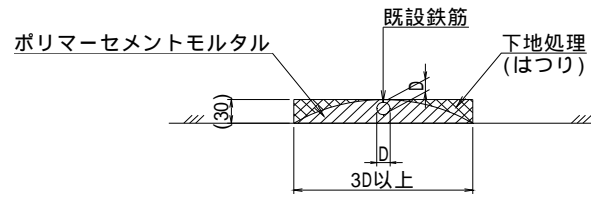
立谷橋 断面修復工数量計算書

断面修復 (ポリマーセメントモルタル)

$$A = \text{断面修復(上部工)数量計算書より} = 0.70 \text{ m}^2$$

$$V = 0.70 \times 0.03 = 0.02 \text{ m}^3$$

断面修復(上部工) 数量計算書



1m ³ 当り				
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
断 面 修 復 材	ポリマーセメントモルタル	m ³	1.0	鉄筋防錆処理含む
下 地 処 理		m ²	33.3	はつり30mm

数量計算

断面修復材

$$V = 1.0 \text{ m}^3$$

下地処理

$$A = 1.0 \text{ m}^3 / 0.03$$

$$= 33.3 \text{ m}^2$$

立谷橋 伸縮装置取替工数量集計表

1式当り

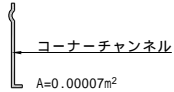
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
伸 縮 装 置 取 替	AIJ-20同等品以上	m	4.00	A1橋台
	ソーマジョイント同等品以上	〃	4.00	A2橋台
既 設 伸 縮 装 置 撤 去		t	0.009	
コ ン ク リ ー ト 取 壊 し		m ³	0.3	
止 水 材	シリコーン#70同等品以上	m ³	0.003	
プ ラ イ マ ー 塗 布	シリコーン用	m ²	0.1	
バ ッ ク ア ッ プ 材	発泡ポリウレタン	m ²	0.1	

立谷橋 伸縮装置取替工数量計算書

伸縮装置取替

a). A1橋台 (AIJ-20同等品以上)	L =	4.00 m
b). A2橋台 (ゾーマジョイント同等品以上)	L =	4.00 m

既設伸縮装置撤去



$$W = 0.00007 \text{ m}^2 \times 2 \times 4.00 \times 7850 \text{ kg/m}^3 \times 2 = 9 \text{ kg}$$

※ 既設の伸縮装置はカットオフジョイントと想定した。

コンクリート取壊し

$$V = (0.40 + 0.10) \times 0.07 \times 4.00 \times 2 = 0.3 \text{ m}^3$$

止水材 (シリコーン#70同等品以上)

$$\text{A1橋台 } 0.03 \times 0.02 \times (0.40 + 0.12) \times 2 = 0.0006 \text{ m}^3$$

$$\text{A2橋台 } 0.07 \times 0.03 \times (0.40 + 0.12) \times 2 = 0.002 \text{ //}$$

$$\Sigma V = 0.003 \text{ m}^3$$

プライマー塗布 (シリコーン用)

$$\text{A1橋台 } 0.02 \times 2 \times (0.40 + 0.12) \times 2 = 0.04 \text{ m}^2$$

$$\text{A2橋台 } 0.03 \times 2 \times (0.40 + 0.12) \times 2 = 0.06 \text{ //}$$

$$\Sigma A = 0.1 \text{ m}^2$$

バックアップ材 (発泡ポリウレタン)

$$\text{A1橋台 } 0.03 \times (0.40 + 0.12) \times 2 = 0.03 \text{ m}^2$$

$$\text{A2橋台 } 0.07 \times (0.40 + 0.12) \times 2 = 0.07 \text{ //}$$

$$\Sigma A = 0.1 \text{ m}^2$$

伸縮装置取替(A1橋台) 数量計算書

4.00m当り

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
荷重支持型ジョイント	AIJ-20同等品以上	m	4.00	二重止水装置付き
鉄 筋	SD345, D13	t	0.016	
後打ちコンクリート	超速硬コンクリート	m ³	0.2	$\sigma_{3h}=24\text{N}/\text{mm}^2$
異形アンカー	D13×100	本	80	

数量計算

荷重支持型ジョイント	L =	4.00 m
鉄筋 a).D13 $2.05 \times 0.995 \text{ kg/m} \times 8$	=	16 kg
後打ちコンクリート $V = (0.40 + 0.31) \times 0.07 \times 4.00$	=	0.2 m ³
異形アンカー	N =	80 本

伸縮装置取替(A2橋台) 数量計算書

4.00m当り

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
舗装厚内型埋設ジョイント	ソーマジョイント同等品以上	m	4.00	敷板 W=500

数量計算

舗装厚内型埋設ジョイント

L = 4.00 m

立谷橋 舗装打換工数量集計表

1式当り

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
舗 装 打 換	表層 再生密粒度アスコン(13) t=40mm	m ²	10.2	
	基層 再生粗粒度アスコン(20) t=40mm	//	10.2	
路 面 切 削 面 積	コンクリート舗装版 t=70mm(平均)	m ²	1.3	伸縮装置部
	コンクリート舗装版 t=80mm	//	9.4	背面道路部
舗 装 版 取 壊 し 量	コンクリート舗装版	m ³	0.8	
舗 装 版 切 断	コンクリート舗装版	m	12.0	

立谷橋 舗装打換工数量計算書

舗装打換

a). 表層 (再生密粒度アスコン(13) t=40mm)

$$\textcircled{1} = 1/2 \times 4.74 \times 2.14$$

$$= 5.1 \text{ m}^2$$

$$\textcircled{2} = 1/2 \times 4.74 \times 2.14$$

$$= 5.1 \text{ 〃}$$

$$\Sigma A = 10.2 \text{ m}^2$$

b). 基層 (再生粗粒度アスコン(20) t=40mm)

$$\textcircled{1} = 1/2 \times 4.74 \times 2.14$$

$$= 5.1 \text{ m}^2$$

$$\textcircled{2} = 1/2 \times 4.74 \times 2.14$$

$$= 5.1 \text{ 〃}$$

$$\Sigma A = 10.2 \text{ m}^2$$

路面切削面積

a). 伸縮装置部 : コンクリート舗装版 t=70mm(平均)

$$A1 \quad 0.21 \times 4.00$$

$$= 0.8 \text{ m}^2$$

$$A2 \quad 0.12 \times 4.00$$

$$= 0.5 \text{ 〃}$$

$$\Sigma A = 1.3 \text{ m}^2$$

b). 背面道路部 : コンクリート舗装版 t=80mm

$$\textcircled{3} = 1/2 \times 4.64 \times 2.03$$

$$= 4.7 \text{ m}^2$$

$$\textcircled{4} = 1/2 \times 4.64 \times 2.03$$

$$= 4.7 \text{ 〃}$$

$$\Sigma A = 9.4 \text{ m}^2$$

舗装版取壊し量 (コンクリート舗装版)

$$V = 1.3 \times 0.07 + 9.4 \times 0.08$$

$$= 0.8 \text{ m}^3$$

舗装版切断 (コンクリート舗装版)

$$L = 4.00 \times 3$$

$$= 12.0 \text{ m}$$

立谷橋 防護柵補修工数量集計表

1式当り

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
孔 明	φ20	箇所	91	
モ ル タ ル 充 填	無収縮モルタル	m ³	0.1	
溶 接 補 修		m	3.6	

立谷橋 防護柵補修工数量計算書

孔明 (φ 20)

$$N = 46 + 45 = 91 \text{ 箇所}$$

モルタル充填 (無収縮モルタル)

$$V = 1/4 \times \pi \times 0.11^2 \times 0.17 \times (46 + 45) = 0.1 \text{ m}^3$$

溶接補修

$$L = 0.91 \times 4 = 3.6 \text{ m}$$

立谷橋 支承防錆工数量集計表

1式当り

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
支 承 防 錆	金属溶射	基	2	可動 75t
	〃	〃	2	固定 60t

立谷橋 支承防錆工数量計算書

支承防錆(金属溶射)

a). 可動 75t

N = 2 基

b). 固定 60t

N = 2 基

立谷橋 変位制限構造(RC突起)撤去復旧工数量集計表

1式当り

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	
コ ン ク リ ー ト	30-8-25BB	m ³	1.1		
型 枠	一般型枠	m ²	2.8		
鉄 筋	D29~D32	SD345	t	—	
	D16~D25	〃	〃	0.226	
	D13	〃	〃	—	
	合 計	SD345	t	0.226	
下 地 処 理	チップング	m ²	5.1		
ア ン カ ー 工	下方向 D25	本	32		
緩 衝 材	緩衝材	HD-HF10 203×100×177	個	16	
	基盤	SM400A t=6mm	t	0.033	
	アンカー	M12×130 SD295A	個	16	全ねじ
	スタッド	M12×25 SD295A	個	64	全ねじ
	ナット	M12 SS400	個	80	
	ワッシャー	M12 SS400	個	80	
溶 融 垂 鉛 メ ッ キ	HDZ55	t	0.033		
	HDZ35	〃	0.004		
コンクリート構造物取壊し	鉄筋構造物	m ³	1.1		
コンクリート削孔	φ34×400	孔	32	コアボーリングマシン	

立谷橋 変位制限構造(RC突起)撤去復旧工数量計算書

コンクリート (30-8-25BB)

$$V = 0.65 \times 0.90 \times 0.45 \times 4 = 1.1 \text{ m}^3$$

型枠 (一般型枠)

$$A = (0.65 \times 0.45 + 0.90 \times 0.45) \times 4 = 2.8 \text{ m}^2$$

鉄筋 (SD345)

a). 質量

D29 ~ D32		
D32	=	— kg
D29	=	— //
<hr style="width: 50%; margin-left: auto; margin-right: 0;"/>		
w1	=	— kg
D16 ~ D25		
D25	=	142 kg
D22	=	— //
D19	=	— //
D16	=	84 //
<hr style="width: 50%; margin-left: auto; margin-right: 0;"/>		
w2	=	226 kg
D13	=	— kg
<hr style="width: 50%; margin-left: auto; margin-right: 0;"/>		
Σ W	=	226 kg

下地処理 (チップング)

下面	0.65 × 0.90 × 4	=	2.3 m ²
背面	0.65 × 0.45 × 4	=	1.2 //
側面	0.90 × 0.45 × 4	=	1.6 //
<hr style="width: 50%; margin-left: auto; margin-right: 0;"/>			
Σ A	=		5.1 m ²

アンカー工 (下方向 D25)

$$N = 8 \times 4 = 32 \text{ 本}$$

緩衝材

a). 緩衝材 (HD-HF10 203 × 100 × 177)

$$N = 4 \times 4 = 16 \text{ 個}$$

b). 基盤 (SM400A t=6mm)

$$W = 0.83 \times 0.21 \times 0.006 \times 7850 \text{ kg/m}^3 \times 4 = 33 \text{ kg}$$

c). アンカー (M12 × 130 SD295A)

$$N = 4 \times 4 = 16 \text{ 個}$$

d). スタッド (M12 × 25 SD295A)

$$N = 16 \times 4 = 64 \text{ 個}$$

e). ナット (M12 SS400)

$$N = 20 \times 4 = 80 \text{ 個}$$

f). ワッシャー (M12 SS400)

$$N = 20 \times 4 = 80 \text{ 個}$$

溶融亜鉛メッキ

a). HDZ55

$$W = 0.83 \times 0.21 \times 0.006 \times 7850 \text{ kg/m}^3 \times 4 = 33 \text{ kg}$$

b). HDZ35

$$\text{アンカー } 0.03 \times 1.0 \text{ kg/m} \times 16 = 0.5 \text{ kg}$$

$$\text{スタッド } 0.03 \times 1.0 \text{ kg/m} \times 64 = 2 \text{ ''}$$

$$\text{ナット } 0.017 \text{ kg/個} \times 80 = 1 \text{ ''}$$

$$\text{ワッシャー } 0.005 \text{ kg/個} \times 80 = 0.4 \text{ ''}$$

$$\Sigma W = 4 \text{ kg}$$

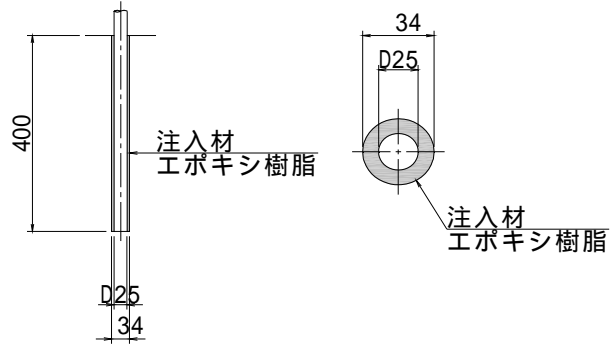
コンクリート構造物取壊し (鉄筋構造物)

$$V = 0.65 \times 0.90 \times 0.45 \times 4 = 1.1 \text{ m}^3$$

コンクリート削孔 ($\phi 34 \times 400$)

$$N = 8 \times 4 = 32 \text{ 孔}$$

アンカー(下方向 D25) 数量計算書



100本当り

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
ア ン カ ー 材	SD345	本	100	
ア ン カ ー 材 径		mm	25	23mmを超え,30mm以下
削 孔 深 さ		m	40.0	500mm以下
注 入 材	エポキシ樹脂	kg	23.0	

数量計算

アンカー材 N = 100 本

アンカー材径 D = 25 mm

削孔深 $L = 0.40 \times 100$ = 40.0 m

注入材 $W = \frac{1}{4} \times \pi \times (0.034^2 - 0.025^2) \times 0.40 \times 1200 \frac{\text{kg}}{\text{m}^3} \times (1 + 0.15) \times 100$ = 23.0 kg

立谷橋

変位制限構造(鋼製ブラケット)撤去復旧工数量集計表

1式当り

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
鋼製ブラケット撤去		箇所	2	
鋼製ブラケット復旧		箇所	2	

立谷橋 変位制限構造(鋼製ブラケット)撤去復旧工数量計算書

鋼製ブラケット撤去

$$N = 1 \times 2$$

=

2 箇所

鋼製ブラケット復旧

$$N = 1 \times 2$$

=

2 箇所

立谷橋 仮設工数量集計表

1式当り

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
飛 散 防 止 シ ー ト	メッシュシート	m ²	294	
ガ ー ド フ ェ ン ス	H=1800	m	163	

立谷橋 仮設工数量計算書

飛散防止シート (メッシュシート)

$$A = 1.8 \times 81.6 \times 2$$

$$= 294 \text{ m}^2$$

ガードフェンス (H=1800)

$$L = 81.6 \times 2$$

$$= 163 \text{ m}$$

立谷橋 足場工数量集計表

1式当り

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
単 管 傾 斜 足 場		掛 m^2		
片 側 朝 顔 防 護 足 場	シート+板張防護	m^2	22	朝顔・床面,朝顔防護含む
板 張 防 護		m^2	77	
シ ー ト 張 防 護		m^2	77	

立谷橋 足場工数量計算書

単管傾斜足場			
A =		=	掛 m^2
片側朝顔防護足場 (シート+板張防護)			
A = (0.8+1.0)×(9.0+1.0×3)		=	22 m^2
※ 朝顔・床面,朝顔防護を含む。			
板張防護			
単管傾斜足場 1.5×4.8+1/2×2.0×1.5×2		=	10 m^2
" 2.5×4.8+1/2×2.0×2.5×2		=	17 "
片側朝顔防護足場 (0.8+1.0)×3.5×8		=	50 "
		<hr/>	
	Σ A	=	77 m^2
シート張防護			
単管傾斜足場 1.5×4.8+1/2×2.0×1.5×2		=	10 m^2
" 2.5×4.8+1/2×2.0×2.5×2		=	17 "
片側朝顔防護足場 (0.8+1.0)×3.5×8		=	50 "
		<hr/>	
	Σ A	=	77 m^2

※ 足場数量は『橋梁架設工事の積算』に沿って計上している。

立谷橋 殻運搬処理工数量集計表

1式当り

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
殻 運 搬 処 理	コンクリート舗装版	m ³	0.8	
	コンクリート殻(鉄筋)	m ³	1.1	
	コンクリート殻(無筋)	m ³	0.3	
	現場発生品運搬	t	0.009	

立谷橋 殻運搬処理工数量計算書

殻運搬処理

a). コンクリート舗装版

舗装打換工より

$$V = 0.8 \text{ m}^3$$

b). コンクリート殻 (鉄筋)

変位制限構造撤去復旧工より

$$V = 1.1 \text{ m}^3$$

c). コンクリート殻 (無筋)

断面修復工より

$$v1 = 1/2 \times 0.02 = 0.01 \text{ m}^3$$

※ 修復材の1/2として算出した。

伸縮装置取替工より

$$v2 = 0.3 \text{ m}^3$$

$$V = 0.01 + 0.3 = 0.3 \text{ m}^3$$

d). 現場発生品運搬

伸縮装置取替工より

$$W = 0.009 \text{ t}$$

住山橋 数量総括表(その1)

1式当り

工 種	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
ひびわれ充填工			式	1	
	ひびわれ充填	可とう性エポキシ樹脂	橋	1	5m
断面修復工			式	1	
	断 面 修 復	ポリマーセメントモルタル	m ³	0.08	上部工 0.08m ³
		〃	〃	0.05	下部工 0.05m ³
		ポリマーセメントモルタル	橋	1	合計 0.10m ³
剥落防止対策工			式	1	
	剥落防止対策		m ²	275	
伸縮装置取替工			式	1	
	伸 縮 装 置 取 替	AIJ-30同等品以上	m	6.1	A1橋台
		AIJ-20同等品以上	〃	6.1	A2橋台
橋面防水工			式	1	
	橋 面 防 水	塗膜系	m ²	160	
	縦断排水管	φ18 ステンレス製ドレイナー同等品以上	m	58	
	導水テープ	タフシャット導水テープ同等品以上	m	6	
	既設排水樹削孔	φ18	孔	4	
	端部防水処理	端部保護材(縦)	m	58	
		成形目地材(縦)	〃	58	
		成形目地材(横)	〃	12	
舗装打換工			式	1	
	舗 装 打 換	表層 密粒度アスコン(13)	m ²	160	
		調整モルタル t=43mm(平均)	m ³	6.9	
	舗装版取り壊し	アスファルト舗装版 t=83mm(平均)	m ²	163	
	区画線復旧	白実線 W=150mm	m	62	

住山橋 数量総括表(その2)						1式当り
工 種	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	
防護柵部分取替工			式	1		
	防護柵部分取替延長		m	4		
投物防止柵部分取替工			式	1		
	投物防止柵部分取替延長		m	7		
支 承 防 錆 工			式	1		
	支 承 防 錆	金属溶射	基	2	可動 100t	
		〃	〃	2	固定 100t	
変位制限構造撤去復旧工			式	1		
	コンクリート	30-8-25BB	m ³	1		
	型 枠	一般型枠	m ²	6		
	鉄 筋	D29~D32	SD345	t	0.30	
		D16~D25	〃	〃	0.16	
		D13	〃	〃	—	
		合 計	SD345	t	0.46	
	下 地 処 理	チップング	m ²	2		
	ア ン カ ー 工	下方向 D32	本	32		
	緩 衝 材	緩衝材	クロロプレンゴム 硬度55° ±5° 程度	m ²	0.3	t=50mm
		寸切りボルト	M12×200 SS400	個	16	
		ナット	M12 SS400	個	32	
		ワッシャー	M12 SS400	個	32	
	コンクリート構造物取壊し	鉄筋構造物	m ³	1		
	コンクリート削孔	φ42×480	孔	32	コアボーリングマシン	
縁端拡幅撤去復旧工			式	1		
	コンクリート	30-8-25BB	m ³	3		
	型 枠	一般型枠	m ²	14		
	鉄 筋	D29~D32	SD345	t	0.58	
		D16~D25	〃	〃	0.28	
		D13	〃	〃	—	
		合 計	SD345	t	0.86	
	下 地 処 理	チップング	m ²	5		
	ア ン カ ー 工	横方向 D29	本	102		
	コンクリート構造物取壊し	鉄筋構造物	m ³	3		
	コンクリート削孔	φ39×445	孔	102	コアボーリングマシン	

住山橋 ひびわれ充填工数量集計表

1式当り

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
ひ び わ れ 充 填	可とう性エポキシ樹脂	m	5.3	

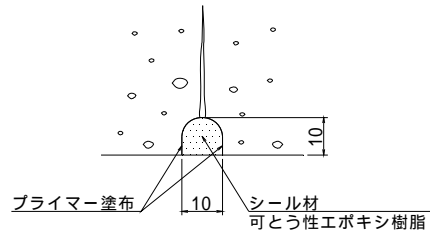
住山橋 ひびわれ充填工数量計算書

ひびわれ充填(可とう性エポキシ樹脂)

L = ひびわれ充填数量計算書より

= 5.3 m

ひびわれ充填 数量計算書



100m当り

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
シ ー ル 材	可とう性エポキシ樹脂	kg	13.0	比重1.30
プ ラ イ マ ー 材	エポキシ樹脂	kg	1.0	標準0.5kg/m ² 使用

数量計算

シーリング材 $W = 0.01 \times 0.01 \times 1300 \text{ kg/m}^3 \times 100.0 \text{ m} = 13.0 \text{ kg}$

プライマー材 $W = 0.01 \times 2 \times 0.5 \text{ kg/m}^2 \times 100.0 \text{ m} = 1.0 \text{ kg}$

住山橋 断面修復工数量集計表

1式当り

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
断 面 修 復	ポリマーセメントモルタル	m ³	0.08	上部工
	〃	〃	0.05	下部工
	ポリマーセメントモルタル	m ³	0.1	合計

住山橋 断面修復工数量計算書

断面修復 (ポリマーセメントモルタル)

a). 上部工

$$A = \text{断面修復(上部工)数量計算書より} = 2.58 \text{ m}^2$$

$$V = 2.58 \times 0.03 = 0.08 \text{ m}^3$$

b). 下部工

$$A = \text{断面修復(下部工)数量計算書より} = 0.78 \text{ m}^2$$

$$V = 0.78 \times 0.06 = 0.05 \text{ m}^3$$

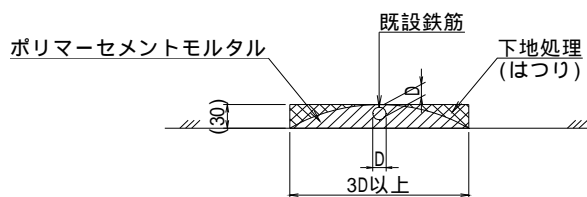
c). 合計

$$V = 0.08 + 0.05 = 0.1 \text{ m}^3$$

断面修復(上部工) 数量計算書

位 置		損傷寸法 (m)	面積 (m ²)	位 置	損傷寸法 (m)	面積 (m ²)	
橋 面	1	0.50 × 0.25 × 1	0.125				
小計			0.125				
桁下面	2	0.15 × 0.05 × 1	0.008	側 面 (大阪側)	41	0.10 × 0.10 × 1	0.010
	3	0.25 × 0.10 × 7	0.175		42	0.05 × 0.05 × 1	0.003
	4	0.30 × 0.10 × 1	0.030		43	0.05 × 0.15 × 1	0.008
	5	0.05 × 0.25 × 1	0.013		44	0.10 × 0.15 × 1	0.015
	6	0.15 × 0.05 × 11	0.083		45	0.15 × 0.25 × 1	0.038
	7	0.30 × 0.10 × 1	0.030		46	0.10 × 0.25 × 1	0.025
	8	0.25 × 0.25 × 1	0.063		47	0.10 × 0.20 × 1	0.020
	9	0.50 × 0.30 × 1	0.150		48	0.10 × 0.15 × 1	0.015
	10	0.25 × 0.30 × 1	0.075		49	0.40 × 0.15 × 1	0.060
	11	0.30 × 1.30 × 1	0.390		小計		0.194
	11'	0.20 × 0.20 × 1	0.040	合 計			2.584
	12	0.05 × 0.25 × 12	0.150				
	13	0.10 × 0.50 × 1	0.050				
	14	0.05 × 0.20 × 1	0.010				
	15	0.15 × 0.05 × 1	0.008				
	16	0.40 × 0.40 × 1	0.160				
	17	0.25 × 0.40 × 1	0.100				
	18	0.05 × 0.10 × 1	0.005				
	19	0.10 × 0.50 × 1	0.050				
	20	0.10 × 0.20 × 1	0.020				
	21	0.15 × 0.15 × 1	0.023				
	22	0.20 × 0.15 × 1	0.030				
	23	0.25 × 0.35 × 1	0.088				
	24	0.15 × 0.10 × 3	0.045				
	25	0.15 × 0.10 × 2	0.030				
	26	0.05 × 0.60 × 1	0.030				
	27	0.05 × 0.05 × 1	0.003				
	28	0.20 × 0.10 × 1	0.020				
	29	0.10 × 0.25 × 1	0.025				
	30	0.20 × 0.25 × 1	0.050				
	31	0.10 × 0.20 × 1	0.020				
小計			1.974				
側 面 (名古屋側)	32	0.05 × 0.05 × 1	0.003				
	33	0.10 × 0.05 × 1	0.005				
	34	0.20 × 0.50 × 1	0.100				
	35	0.10 × 0.25 × 1	0.025				
	36	0.10 × 0.20 × 1	0.020				
	37	0.05 × 0.10 × 1	0.005				
	38	0.20 × 0.35 × 1	0.070				
	39	0.05 × 0.05 × 1	0.003				
40	0.30 × 0.20 × 1	0.060					
小計			0.291				

断面修復(上部工) 数量計算書



1m³当り

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
断 面 修 復 材	ポリマーセメントモルタル	m ³	1.0	鉄筋防錆処理含む
下 地 処 理		m ²	33.3	はつり30mm

数量計算

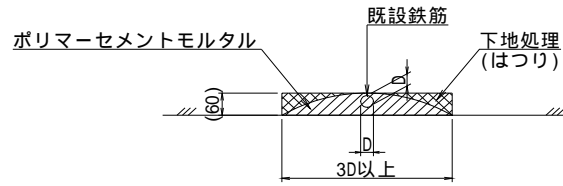
断面修復材

$$V = 1.0 \text{ m}^3$$

下地処理 $A = 1.0 \text{ m}^3 / 0.03$

$$= 33.3 \text{ m}^2$$

断面修復(下部工) 数量計算書



1m ³ 当り				
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
断 面 修 復 材	ポリマーセメントモルタル	m ³	1.0	鉄筋防錆処理含む
下 地 処 理		m ²	16.7	はつり60mm

数量計算

断面修復材

$$V = 1.0 \text{ m}^3$$

下地処理

$$A = 1.0 \text{ m}^3 / 0.06$$

$$= 16.7 \text{ m}^2$$

住山橋 剥落防止対策工数量集計表

1式当り

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
剥 落 防 止 対 策		m ²	274.6	

住山橋 剥落防止対策工数量計算書

剥落防止対策

上部工 $(0.31+0.10+1.41+0.90+3.20+0.90+1.41+0.10+0.31) \times 29.83$	=	257.7 m ²
座面上控除 $-3.20 \times (1.40+1.41)$	=	-9.0 "
下部工前面 $\{ (0.91+0.22+0.17) \times 5.00 + (0.92+0.92) \times 1.06 \} \times 2$	=	16.9 "
下部工側面 $\{ 1.06 \times 1.10 + 1.06 \times 0.33 - 1/2 \times 0.16 \times 0.15 \} \times 2 \times 2$	=	6.0 "
RC突起 $(0.77+0.72) \times 0.50 \times 2 \times 2$	=	3.0 "
ΣA	=	274.6 m ²

住山橋 伸縮装置取替工数量集計表

1式当り

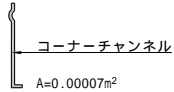
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
伸 縮 装 置 取 替	AIJ-30同等品以上	m	6.07	A1橋台
	AIJ-20同等品以上	〃	6.07	A2橋台
既 設 伸 縮 装 置 撤 去		t	0.007	
コ ン ク リ ー ト 取 壊 し		m ³	0.4	
止 水 材	シリコーン#70同等品以上	m ³	0.001	
プ ラ イ マ ー 塗 布	シリコーン用	m ²	0.08	
バ ッ ク ア ッ プ 材	発泡ポリウレタン	m ²	0.05	

住山橋 伸縮装置取替工数量計算書

伸縮装置取替

a). A1橋台 (AIJ-30同等品以上)	L =	6.07 m
b). A2橋台 (AIJ-20同等品以上)	L =	6.07 m

既設伸縮装置撤去



$$W = 0.00007 \text{ m}^2 \times 2 \times 6.07 \times 7850 \text{ kg/m}^3 = 7 \text{ kg}$$

※ A1橋台部の既設の伸縮装置はカットオフジョイントと想定した。

コンクリート取壊し

$$V = (0.40 + 0.10) \times 0.08 \times 6.07 + 0.40 \times 0.08 \times 6.07 = 0.4 \text{ m}^3$$

止水材 (シリコーン#70同等品以上)

A1橋台 $0.03 \times 0.02 \times (0.39 + 0.10) \times 2$	=	0.0006 m^3
A2橋台 $0.02 \times 0.02 \times (0.39 + 0.10) \times 2$	=	0.0004 //
ΣV	=	0.001 m^3

プライマー塗布 (シリコーン用)

A1橋台 $0.02 \times 2 \times (0.39 + 0.10) \times 2$	=	0.04 m^2
A2橋台 $0.02 \times 2 \times (0.39 + 0.10) \times 2$	=	0.04 //
ΣA	=	0.08 m^2

バックアップ材 (発泡ポリウレタン)

A1橋台 $0.03 \times (0.39 + 0.10) \times 2$	=	0.03 m^2
A2橋台 $0.02 \times (0.39 + 0.10) \times 2$	=	0.02 //
ΣA	=	0.05 m^2

伸縮装置取替(A1橋台) 数量計算書

6.07m当り

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
荷重支持型ジョイント	AIJ-30同等品以上	m	6.07	二重止水装置付き
鉄 筋	SD345 , D13	t	0.025	
後打ちコンクリート	超速硬コンクリート	m ³	0.3	$\sigma_{3h}=24\text{N}/\text{mm}^2$
異 形 ア ン カ ー	D13×110	本	124	

数量計算

荷重支持型ジョイント	L =	6.07 m
鉄筋 a).D13 $3.09 \times 0.995 \text{ kg/m} \times 8$	=	25 kg
後打ちコンクリート $V = (0.40 + 0.32) \times 0.08 \times 6.07$	=	0.3 m ³
異形アンカー	N =	124 本

伸縮装置取替(A2橋台) 数量計算書

6.07m当り

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
荷重支持型ジョイント	AIJ-20同等品以上	m	6.07	二重止水装置付き
鉄 筋	SD345 , D13	t	0.025	
後打ちコンクリート	超速硬コンクリート	m ³	0.3	$\sigma_{3h}=24\text{N/mm}^2$
異形アンカー	D13×110	本	124	

数量計算

荷重支持型ジョイント	L =	6.07 m
鉄筋 a).D13 $3.09 \times 0.995 \text{ kg/m} \times 8$	=	25 kg
後打ちコンクリート $V = (0.40 + 0.31) \times 0.08 \times 6.07$	=	0.3 m ³
異形アンカー	N =	124 本

住山橋 橋面防水工数量集計表

1式当り

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
橋 面 防 水	塗膜系	m ²	160.2	
縦 断 排 水 管	φ18 ステンレス製ドレイナー同等品以上	m	58.3	
導 水 テ ー プ	タフシャット導水テープ同等品以上	m	6.1	
既 設 排 水 枳 削 孔	φ18	孔	4	
端 部 防 水 処 理	縦断排水管	m	58.3	
	横断排水管	〃	12.1	

住山橋 橋面防水工数量計算書

橋面防水(塗膜系)

①	=	$1/2 \times 32.17 \times 4.98$	=	80.1 m ²
②	=	$1/2 \times 32.17 \times 4.98$	=	80.1 "
			<hr/>	
Σ A	=		=	160.2 m ²

縦断排水管(φ18 ステンレス製ドレイナー同等品以上)

L = 29.13 + 29.13	=	58.3 m
-------------------	---	--------

導水テープ(タフシャット導水テープ同等品以上)

L	=	6.1 m
---	---	-------

既設排水樹削孔(φ18)

N = 2 × 2	=	4 孔
-----------	---	-----

端部防水処理

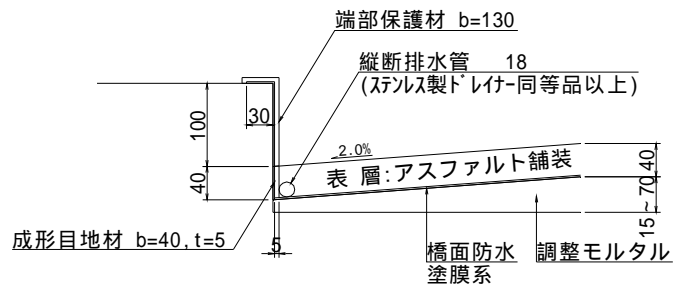
a). 縦断排水管

L = 29.13 + 29.13	=	58.3 m
-------------------	---	--------

b). 横断排水管

L = 6.07 + 6.07	=	12.1 m
-----------------	---	--------

端部防水処理(縦断排水管) 数量計算書



100m当り

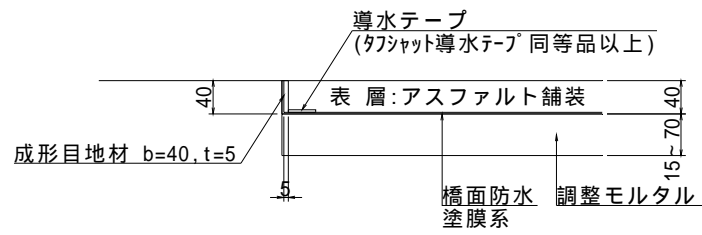
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
端 部 保 護 材	b=130	m	100.0	
成 形 目 地 材	b=40,t=5	m	100.0	

数量計算

端部保護材 L = 100.0 m

成形目地材 L = 100.0 m

端部防水処理(横断排水管) 数量計算書



100m当り

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
成 形 目 地 材	b=40,t=5	m	100.0	

数量計算

成形目地材

L = 100.0 m

住山橋 舗装打換工数量集計表

1式当り

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
舗 装 打 換	表層 密粒度アスコン(13) ポリマー改質Ⅲ型-W t=40mm	m ²	160.2	
	調整モルタル t=43mm(平均)	//	160.2	
路 面 切 削 面 積	アスファルト舗装版 t=83mm(平均)	m ²	163.4	
舗 装 版 取 壊 し 量	アスファルト舗装版	m ³	13.1	
区 画 線 復 旧	白実線 W=150mm	m	61.5	

住山橋 舗装打換工数量計算書

舗装打換

a). 表層 (密粒度アスコン(13)(ポリマー改質Ⅲ型-W) t=40mm)

$$\textcircled{1} = 1/2 \times 32.17 \times 4.98 = 80.1 \text{ m}^2$$

$$\textcircled{2} = 1/2 \times 32.17 \times 4.98 = 80.1 \text{ //}$$

$$\Sigma A = 160.2 \text{ m}^2$$

b). 調整モルタル (t=43mm(平均))

$$\textcircled{1} = 1/2 \times 32.17 \times 4.98 = 80.1 \text{ m}^2$$

$$\textcircled{2} = 1/2 \times 32.17 \times 4.98 = 80.1 \text{ //}$$

$$\Sigma A = 160.2 \text{ m}^2$$

路面切削面積 (アスファルト舗装版 t=83mm(平均))

$$\textcircled{3} = 1/2 \times 32.75 \times 4.99 = 81.7 \text{ m}^2$$

$$\textcircled{4} = 1/2 \times 32.75 \times 4.99 = 81.7 \text{ //}$$

$$\Sigma A = 163.4 \text{ m}^2$$

舗装版取壊し量 (アスファルト舗装版)

$$V = 163.4 \times 0.08 = 13.1 \text{ m}^3$$

区画線復旧 (白実線 W=150mm)

$$L = 30.76 + 30.76 = 61.5 \text{ m}$$

住山橋 防護柵部分取替工数量集計表

1式当り

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
防護柵部分取替延長		m	4.1	
丸 鋼	φ19	t	0.006	SR235相当
ボトムレール	SGP40A	t	0.005	
	SGP25A	//	0.0001	
溶融亜鉛めっき	HDZ55	t	0.011	
現場溶接	すみ肉溶接	m	0.8	
防護柵部分撤去延長		m	4.1	
防護柵部分撤去重量		t	0.011	
切 断	丸鋼 φ19	箇所	6	
	ボトムレール SGP40A	//	1	
	ボトムレール SGP25A	//	1	

住山橋 防護柵部分取替工数量計算書

防護柵部分取替延長

$$L = 0.69 \times 4 + 1.29 = 4.1 \text{ m}$$

丸鋼 (φ 19)

$$W = 2.23^{\text{kg/m}} \times 0.69 \times 4 = 6 \text{ kg}$$

ボトムレール

a). SGP40A

$$W = 3.89^{\text{kg/m}} \times 1.29 = 5 \text{ kg}$$

b). SGP25A

$$W = 2.43^{\text{kg/m}} \times 0.06 = 0.1 \text{ kg}$$

溶融亜鉛めっき (HDZ55)

$$\text{ボトムレール } 3.89^{\text{kg/m}} \times 1.29 = 5 \text{ kg}$$

$$\text{ボトムレール } 2.43^{\text{kg/m}} \times 0.06 = 0.1 \text{ "}$$

$$\text{縦棧 } 2.23^{\text{kg/m}} \times 0.69 \times 4 = 6 \text{ kg}$$

$$\Sigma W = 11 \text{ kg}$$

現場溶接 (すみ肉溶接)

$$L = 0.02 \times \pi \times 2 \times 4 + 0.05 \times \pi + 0.03 \times \pi = 0.8 \text{ m}$$

防護柵部分撤去延長

$$L = 0.69 \times 4 + 1.29 = 4.1 \text{ m}$$

防護柵部分撤去重量

$$\text{縦棧 } 2.23^{\text{kg/m}} \times 0.69 \times 4 = 6 \text{ kg}$$

$$\text{ボトムレール } 3.89^{\text{kg/m}} \times 1.29 = 5 \text{ "}$$

$$\text{ボトムレール } 2.43^{\text{kg/m}} \times 0.06 = 0.1 \text{ "}$$

$$\Sigma W = 11 \text{ kg}$$

切断

a). 丸鋼 φ 19

$$N = 2 \times 4 - 2 = 6 \text{ 箇所}$$

※ 既に破断している箇所は控除している。

b). ボトムレール SGP40A

$$= 1 \text{ 箇所}$$

c). ボトムレール SGP25A

$$= 1 \text{ 箇所}$$

住山橋 投物防止柵部分取替工数量集計表

1式当り

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	
投物防止柵部分取替延長		m	6.9		
支 柱	φ 48.6	t	0.005	STK400 めっき品	
菱 形 金 網	φ 2.6×25	t	0.023	めっき品	
縦 胴 縁	R付L-40×40×3	t	0.003	SS400 めっき品	
中 間 孔 付 胴 縁	R付L-40×40×3	t	0.0005	SS400 めっき品	
丸 鋼	φ 6.0	t	0.0004	SR235相当 めっき品	
鉄 線	φ 4.0	t	0.0004	SWM-GS7 めっき品	
継 手 ピ ー ス	R付L-30×30×3	t	0.0002	SS400 めっき品	
網 押 え 金 具	19×26	個	7	SPHC めっき品	
止 金 具	4.5×25	個	4	SPHC めっき品	
縦 胴 縁 取 付 BN	M8×20	組	3	SUS304	
網 押 え BN	M8×32	組	7	SUS304	
中 間 胴 縁 取 付 BN	M8×75	組	2	SUS304	
胴 縁 BN	M8×110	組	2	SUS304	
鉄 線 止 BN	M8×75	組	2	SUS304	
継 手 BN	M8×16	組	4	SUS304	
支柱取付金具	丸 鋼	φ 12 (両側ねじ切り)	t	0.002	SR235相当
	プ レ ー ト	t=6mm	t	0.001	SM400A
	ナット・ワッシャー	M12	組	8	SS400相当
溶 融 亜 鉛 め っ き	HDZ55	t	0.003		
	HDZ35	//	0.00008		
投物防止柵部分撤去延長		m	6.9		
投物防止柵部分撤去重量		t	0.032		

住山橋 投物防止柵部分取替工数量計算書

投物防止柵部分取替延長

$$L = 1.92 + 2.80 + 1.88 + 0.30 = 6.9 \text{ m}$$

支柱 (φ 48.6)

$$W = 2.63^{\text{kg/m}} \times 1.92 = 5 \text{ kg}$$

菱形金網 (φ 2.6×25)

$$W = 4.40^{\text{kg/m}^2} \times 1.88 \times 2.80 = 23 \text{ kg}$$

縦胴縁 (R付L-40×40×3)

$$W = 1.79^{\text{kg/m}} \times 1.88 = 3 \text{ kg}$$

中間孔付胴縁 (R付L-40×40×3)

$$W = 1.79^{\text{kg/m}} \times 0.30 = 0.5 \text{ kg}$$

丸鋼 (φ 6.0)

$$W = 0.22^{\text{kg/m}} \times 1.87 = 0.4 \text{ kg}$$

鉄線 (φ 4.0)

$$W = 0.11^{\text{kg/m}} \times 1.88 \times 2 = 0.4 \text{ kg}$$

継手ピース (R付L-30×30×3)

$$W = 1.31^{\text{kg/m}} \times 0.14 = 0.2 \text{ kg}$$

網押え金具 (19×26)

$$N = 7 \text{ 個}$$

止金具 (4.5×25)

$$N = 4 \text{ 個}$$

縦胴縁取付BN (M8×20)

$$N = 3 \text{ 組}$$

網押えBN (M8×32)

$$N = 7 \text{ 組}$$

中間胴縁取付BN (M8×75)

$$N = 1 + 1 = 2 \text{ 組}$$

胴縁BN (M8×110)

$$N = 2 \text{ 組}$$

鉄線止BN (M8×75)

$$N = 2 \text{ 組}$$

継手BN (M8×16)

$$N = 4 \text{ 組}$$

支柱取付金具

a). 丸鋼 (φ 12(両側ねじ切り))

$$W = 0.89^{\text{kg/m}} \times 0.43 \times (2+2) = 2 \text{ kg}$$

b). プレート (t=6mm)

$$w = 0.20 \times 0.06 \times 0.006 \times 7850^{\text{kg/m}^3} \times 2 = 1 \text{ kg}$$

$$w = 0.11 \times 0.03 \times 0.006 \times 7850^{\text{kg/m}^3} \times 0.4 \times 2 \times 2 = 0.2 \text{ 〃}$$

$$\Sigma W = 1 \text{ kg}$$

c). ナット・ワッシャー (M12)

$$N = 4+4 = 8 \text{ 組}$$

溶融亜鉛めっき

a). HDZ55

$$\text{プレート } 0.20 \times 0.06 \times 0.006 \times 7850^{\text{kg/m}^3} \times 2 = 1 \text{ kg}$$

$$\text{プレート } 0.11 \times 0.03 \times 0.006 \times 7850^{\text{kg/m}^3} \times 0.4 \times 2 \times 2 = 0.2 \text{ 〃}$$

$$\text{丸鋼 } 0.89^{\text{kg/m}} \times 0.43 \times (2+2) = 2 \text{ 〃}$$

$$\Sigma W = 3 \text{ kg}$$

b). HDZ35

$$\text{ナット・ワッシャー } 0.02^{\text{kg/組}} \times (2+2) = 0.08 \text{ kg}$$

投物防止柵部分撤去延長

$$L = 1.92 + 2.80 + 1.88 + 0.30 = 6.9 \text{ m}$$

投物防止柵撤去重量

$$\text{支柱 } 2.63^{\text{kg/m}} \times 1.92 = 5 \text{ kg}$$

$$\text{菱形金網 } 4.40^{\text{kg/m}^2} \times 1.88 \times 2.80 = 23 \text{ kg}$$

$$\text{縦胴縁 } 1.79^{\text{kg/m}} \times 1.88 = 3 \text{ kg}$$

$$\text{中間孔付胴縁 } 1.79^{\text{kg/m}} \times 0.30 = 0.5 \text{ 〃}$$

$$\Sigma W = 32 \text{ kg}$$

住山橋 支承防錆工数量集計表

1式当り

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
支 承 防 錆	金属溶射	基	2	可動 100t
	〃	〃	2	固定 100t

住山橋 支承防錆工数量計算書

支承防錆(金属溶射)

a). 可動 100t

N = 2 基

b). 固定 100t

N = 2 基

住山橋 変位制限構造撤去復旧工数量集計表

1式当り

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	
コンクリート	30-8-25BB	m ³	1.0		
型 枠	一般型枠	m ²	6.0		
鉄 筋	D29~D32	SD345	t	0.296	
	D16~D25	〃	〃	0.160	
	D13	〃	〃	—	
	合 計	SD345	t	0.456	
下 地 処 理	チップング	m ²	2.0		
ア ン カ ー 工	下方向 D32	本	32		
緩 衝 材	緩衝材	クロロプレンゴム 硬度55° ±5° 程度	m ²	0.3	t=50mm
	寸切りボルト	M12×200 SS400	個	16	
	ナット	M12 SS400	個	32	
	ワッシャー	M12 SS400	個	32	
溶 融 亜 鉛 メ ッ キ	HDZ35	t	0.001		
コンクリート構造物取壊し	鉄筋構造物	m ³	1.0		
コンクリート削孔	φ42×480	孔	32	コアボーリングマシン	

住山橋 変位制限構造撤去復旧工数量計算書

コンクリート (30-8-25BB)

$$V = 0.65 \times 0.77 \times 0.50 \times 4 = 1.0 \text{ m}^3$$

型枠 (一般型枠)

$$A = (0.77 + 0.72) \times 0.50 \times 2 \times 4 = 6.0 \text{ m}^2$$

鉄筋 (SD345)

a). 質量

D29 ~ D32		
D32	=	296 kg
D29	=	— //
<hr style="width: 50%; margin-left: auto; margin-right: 0;"/>		
w1	=	296 kg
D16 ~ D25		
D25	=	— kg
D22	=	— //
D19	=	160 //
D16	=	— //
<hr style="width: 50%; margin-left: auto; margin-right: 0;"/>		
w2	=	160 kg
D13	=	— kg
<hr style="width: 50%; margin-left: auto; margin-right: 0;"/>		
Σ W	=	456 kg

下地処理 (チップング)

$$A = 0.65 \times 0.77 \times 4 = 2.0 \text{ m}^2$$

アンカー工 (下方向 D32)

$$N = 8 \times 4 = 32 \text{ 本}$$

緩衝材

a). 緩衝材 (クロロプレンゴム 硬度55° ±5° 程度)

$$A = 0.40 \times 0.20 \times 4 = 0.3 \text{ m}^2$$

b). 寸切りボルト (M12×200 SS400)

$$N = 4 \times 4 = 16 \text{ 個}$$

c). ナット (M12 SS400)

$$N = 8 \times 4 = 32 \text{ 個}$$

d). ワッシャー (M12 SS400)

$$N = 8 \times 4 = 32 \text{ 個}$$

溶融亜鉛メッキ (HDZ35)

$$\text{ボルト } 0.04 \times 1.000 \text{ kg/m} \times 16 = 0.6 \text{ kg}$$

$$\text{ナット } 0.017 \text{ kg/個} \times 32 = 0.5 \text{ //}$$

$$\text{ワッシャー } 0.005 \text{ kg/個} \times 32 = 0.2 \text{ //}$$

$$\Sigma W = 1 \text{ kg}$$

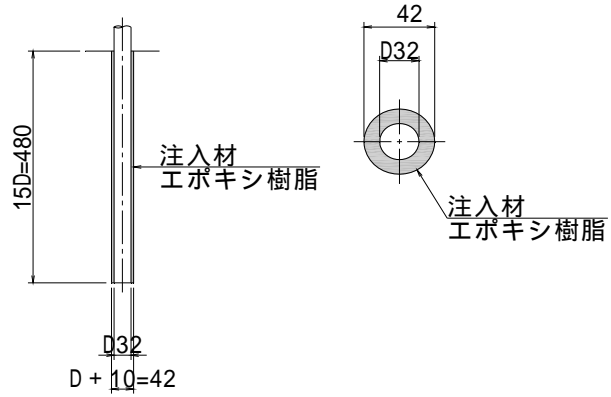
コンクリート構造物取壊し (鉄筋構造物)

$$V = 0.65 \times 0.77 \times 0.50 \times 4 = 1.0 \text{ m}^3$$

コンクリート削孔 (φ42×480)

$$N = 8 \times 4 = 32 \text{ 孔}$$

アンカー(下方向 D32) 数量計算書



100本当り				
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
アンカー材	SD345	本	100	
アンカー材径		mm	32	30mmを超え,43mm以下
削孔深さ		m	48.0	500mm以下
注 入 材	エポキシ樹脂	kg	38.5	

数量計算

アンカー材 N = 100 本

アンカー材径 D = 32 mm

削孔深 $L = 0.48 \times 100$ = 48.0 m

注入材 $W = 1/4 \times \pi \times (0.042^2 - 0.032^2) \times 0.48 \times 1200 \text{ kg/m}^3 \times (1 + 0.15) \times 100$ = 38.5 kg

住山橋 縁端拡幅撤去復旧工数量集計表

1式当り

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
コ ン ク リ ー ト	30-8-25BB	m ³	3.1	
型 枠	一般型枠	m ²	14.0	
鉄 筋	D29~D32	SD345	t	0.580
	D16~D25	〃	〃	0.282
	D13	〃	〃	—
	合 計	SD345	t	0.862
下 地 処 理	チップング	m ²	5.3	
ア ン カ ー 工	横方向 D29	本	102	
コンクリート構造物取壊し	鉄筋構造物	m ³	3.1	
コンクリート削孔	φ39×445	孔	102	コアボーリングマシン
支 保	パイプサポート支保	空m ³	0.6	40kN/m2以下

住山橋 緑端拡幅撤去復旧工数量計算書

コンクリート (30-8-25BB)

$$V = (0.30 \times 5.00 \times 1.06 - 1/2 \times 0.15 \times 0.15 \times 5.00) \times 2 = 3.1 \text{ m}^3$$

型枠 (一般型枠)

$$\text{正面・側面 } \{ (0.33 \times 2 + 5.00) \times 1.06 \} \times 2 = 12.0 \text{ m}^2$$

$$\text{下面 } \{ 0.15 + \sqrt{(0.15^2 + 0.15^2)} \} \times 5.00 \times 2 = 3.6 \text{ 〃}$$

$$\text{控除 } - (0.15 \times 5.00 + 1/2 \times 0.17 \times 0.15 \times 2) \times 2 = -1.6 \text{ 〃}$$

$$\Sigma A = 14.0 \text{ m}^2$$

鉄筋 (SD345)

a). 質量

D29 ~ D32

$$D32 = \text{— kg}$$

$$D29 = 580 \text{ 〃}$$

$$w1 = 580 \text{ kg}$$

D16 ~ D25

$$D25 = \text{— kg}$$

$$D22 = \text{— 〃}$$

$$D19 = \text{— 〃}$$

$$D16 = 282 \text{ 〃}$$

$$w2 = 282 \text{ kg}$$

$$D13 = \text{— kg}$$

$$\Sigma W = 862 \text{ kg}$$

下地処理 (チップング)

$$A = 1.06 \times 5.00 = 5.3 \text{ m}^2$$

アンカー工 (横方向 D29)

$$N = 51 \times 2 = 102 \text{ 本}$$

コンクリート構造物取壊し (鉄筋構造物)

$$V = (0.30 \times 5.00 \times 1.06 - 1/2 \times 0.15 \times 0.15 \times 5.00) \times 2 = 3.1 \text{ m}^3$$

コンクリート削孔 (φ39×445)

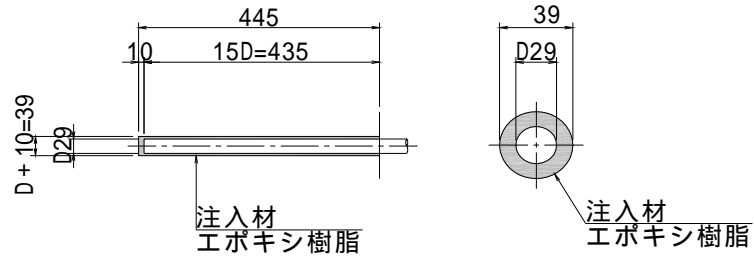
$$N = 51 \times 2 = 102 \text{ 孔}$$

支保 (パイプサポート支保)

$$V = 0.3 \times 5.0 \times 0.2 \times 2 = 0.6 \text{ 空m}^3$$

※ 拡幅から足場までの距離を20cmと仮定した。

アンカー(横方向 D29) 数量計算書



100本当り

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
アンカー材	SD345	本	100	
アンカー材径		mm	29	23mmを超え,30mm以下
削孔深さ		m	45.0	500mm以下
注 入 材	エポキシ樹脂	kg	34.1	

数量計算

アンカー材 N = 100 本

アンカー材径 D = 29 mm

削孔深 $L = 0.45 \times 100$ = 45.0 m

注入材 $W = \frac{1}{4} \times \pi \times (0.039^2 \times 0.45 - 0.029^2 \times 0.44) \times 1200 \text{ kg/m}^3 \times (1 + 0.15) \times 100$ = 34.1 kg

住山橋 仮設工数量集計表

1式当り

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
飛 散 防 止 シ ー ト	メッシュシート	m ²	113	

住山橋 仮設工数量計算書

飛散防止シート(メッシュシート)

$$A = 1.9 \times 29.8 \times 2$$

$$= 113 \text{ m}^2$$

住山橋 足場工数量集計表

1式当り

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
片 側 朝 顔 足 場	シート+板張防護	m ²	160	朝顔・床面,朝顔防護含む
単 管 傾 斜 足 場		掛m ²		
手 摺 先 行 型 枠 組 足 場		掛m ²		
高 所 作 業 車	トラック架装リフト 幅広デッキ プーム型	式	1	
板 張 防 護		m ²	16	
シ ー ト 張 防 護		m ²	16	

住山橋 足場工数量計算書

片側朝顔防護足場 (シート+板張防護)

$$A = (0.8 + 1.5) \times (35.1 + 34.6) = 160 \text{ m}^2$$

※ 朝顔・床面,朝顔防護を含む。

単管傾斜足場

$$A1 \text{ 右側} = \text{掛} \text{ m}^2$$

$$A1 \text{ 左側} = \text{〃}$$

$$\Sigma A = \text{掛} \text{ m}^2$$

手摺先行型枠組足場

$$A1 \text{ 正面} = \text{掛} \text{ m}^2$$

$$A2 \text{ 正面} = \text{〃}$$

$$\Sigma A = \text{掛} \text{ m}^2$$

高所作業車 (トラック架装リフト 幅広デッキ、ブーム型)

$$N = 1 \text{ 式}$$

板張防護

$$\text{単管傾斜足場} \quad a = 0 \text{ m}^2$$

$$\text{手摺先行型枠組足場} \quad a = 0 \text{ m}^2$$

$$\text{単管傾斜足場 } 4.5 \times 1.0 \times 2 + 4.5 \times 0.8 \times 2 = 16 \text{ 〃}$$

$$\Sigma A = 16 \text{ m}^2$$

シート張防護

$$\text{単管傾斜足場} \quad a = 0 \text{ m}^2$$

$$\text{手摺先行型枠組足場} \quad a = 0 \text{ 〃}$$

$$\text{単管傾斜足場 } 4.5 \times 1.0 \times 2 + 4.5 \times 0.8 \times 2 = 16 \text{ 〃}$$

$$\Sigma A = 16 \text{ m}^2$$

※ 足場数量は『橋梁架設工事の積算』に沿って計上している。

住山橋 殻運搬処理工数量集計表

1式当り

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
殻 運 搬 処 理	アスファルト舗装版	m ³	13.1	
	コンクリート殻(鉄筋)	m ³	4.1	
	コンクリート殻(無筋)	m ³	0.5	
	現場発生品運搬	t	0.05	

住山橋 殻運搬処理工数量計算書

殻運搬処理

a). アスファルト舗装版

舗装打換工より

$$V = 13.1 \text{ m}^3$$

b). コンクリート殻 (鉄筋)

変位制限構造・縁端拡幅撤去復旧工より

$$V = 1.0 + 3.1$$

$$= 4.1 \text{ m}^3$$

c). コンクリート殻 (無筋)

断面修復工より

$$v1 = 1/2 \times 0.1$$

$$= 0.05 \text{ m}^3$$

※ 修復材の1/2として算出した。

伸縮装置取替工より

$$v2 = 0.4 \text{ m}^3$$

$$V = 0.05 + 0.4$$

$$= 0.5 \text{ m}^3$$

d). 現場発生品運搬

伸縮装置取替工・防護柵部分取替工・投物防止柵部分取替工より

$$W = 0.007 + 0.011 + 0.032$$

$$= 0.05 \text{ t}$$